

向日市報

まちのうごき

(10月1日現在)	(9月中)	
世帯数 16,129世帯	生れた人 72人	
人口 50,980人	亡くなった人 11人	
男 25,228人	転入した人 263人	
女 25,752人	転出した人 305人	

昭和55年度決算総額は94億円に

昭和五十五年の一般会計、特別会計の決算が、九月に開かれた市議会にて認定されました。前年度から続く厳しい地方財政の状況下、市では、財源の重点的・効率的配分に努め、決算額は、一般会計・特別会計(国保・下水道事業・水道)合わせて、総額九十四億四千三百八十五万五千円となりました。

◆一般会計の規模と収支
五十五年の一般会計の決算額は、歳入七十二億二千六百五十五万二千円(前年度比九十七万七千七百七十九円増)、歳出七十二億八千六百九十二万九千九百九十九円(前年度比一億八千九百九十九円減)となり、黒字となりました。歳入歳出の減少の原因は、五十四年度に第六小学校用地の取得事業があり、決算規模が大きくなっていったためであります。決算収支は、三千九百九十二万三千円(黒字)となり、消防庁舎建設にかかる継続費繰越額九億九千九百八十九万八千九百九十九円(前年度繰越額)を繰越すべく財源を確保した実質収支額は、三千三百二十五万九千九百九十九円(黒字)となっております。また、五十四年度からの繰越金二千四百四十三万三千円を繰越した単年度収支においても、一千二百二十一

財政運営の効率化に努力

55年度の主な事業

- ◆市民のくらしの周辺の環境整備
 - ◇道路 舗装新設工事延長千九百九十二メートル、拡幅改造工事延長五百三十三メートル。河川・排水路の整備など。
 - ◇都市計画 久世北茶屋線街路整備。公園整備や市民の花・市民の木の普及。
 - ◇環境衛生 防疫薬剤の貯蔵、害虫駆除、野火対策。騒音、振動、大気汚染、水質汚濁など定期的な監視測定。
 - ◇交通安全 交通安全教室の開催、セーフティクラブの開設、駅前前の放置自転車対策。
 - ◇清掃 一般家庭ゴミ、大型ゴミの収集、し尿収集。
 - ◇消防 五十五、五十六年度の継続事業として独立消防庁舎の建設。防火水槽の新設および有がい化工事など。
- ◆市民の福祉と健康を守り高める
 - ◇老人福祉 老人医療費の支給。老人クラブへの助成。老人福祉センターにおける諸事業の充実。ねたきり老人・ひとりぐらし老人に対するホームヘルパーの派遣。
 - ◇児童福祉 各保育所施設の新設。児童公園3か所の新設。無認可保育所にかかる補助など。
 - ◇健康 成人病予防対策と
- ◆教育と文化の充実
 - ◇学校 第6向陽小学校の建設。第4・第5向陽小学校校舎の買取り。施設の維持補修。ことば・きこえの教室の教育用品など。
 - ◇社会教育 生涯教育の場としての地区公民館2館の建設。長岡京宮跡公園用地の買取りなど。
 - ◇社会体育 指導員・スポーツ少年団の育成。各種スポーツ教室の充実。

国保会計

昭和五十五年の国民健康保険事業特別会計の決算額は、歳入九億八千七百五十五万五千円(前年度比一億二千三百九十九万七千円、一四・四%の増加)、歳出九億七千二百六十八万八千円(前年度比一億二千三百三十三万一千円、一四・三%の増加)です。したがって、五十五年度は、九億四千六百六十六万六千円の黒字となりました。歳入の主なものは、国庫支出金五五・八%、国民健康保険料四一・七%などで、歳出の主なものは、保険給付費九五・六%、総務費三・八%、基金積立金〇・五%などとなっております。

下水道会計

昭和五十五年の下水道事業特別会計の決算額は、歳入七億七千九百九十九万九千九百九十九円(前年度比二千三百三十三万九千九百九十九円減)となり、歳出七億九千九百九十九万九千九百九十九円(前年度比一億九千九百九十九万九千九百九十九円増)となり、歳入歳出の減少の原因は、五十四年度に第六小学校用地の取得事業があり、決算規模が大きくなっていったためであります。決算収支は、三千九百九十二万三千円(黒字)となり、消防庁舎建設にかかる継続費繰越額九億九千九百八十九万八千九百九十九円(前年度繰越額)を繰越すべく財源を確保した実質収支額は、三千三百二十五万九千九百九十九円(黒字)となっております。また、五十四年度からの繰越金二千四百四十三万三千円を繰越した単年度収支においても、一千二百二十一

55年度決算報告



市長 秋市 民

政健全化計画を策定した訳であります。しかし、このような厳しい状況下ではあります。市民の暮らしに直結した事業を中心に、基本施策であるところの「市民

積極的施策の推進を

私は、昭和五十四年度末の歳入の再選以来、地方自治の原点に立ち、清潔で明るい市民本位の市政の確立を基本に福祉の充実と文化と教育の充実を推進してまいりました。また、五十四年度からの繰越金二千四百四十三万三千円を繰越した単年度収支においても、一千二百二十一

市民一人当たりは	昭和55年度、市民一人当たりに使われたお金は次のようになっています。
議会費	2,614円
総務費	21,753円
民生費	26,596円
衛生費	18,345円
労働費	900円
農林水産業費	1,826円
商工費	1,109円
土木費	18,300円
消防費	8,401円
教育費	31,129円
公債費	12,682円
諸支出金	98円

